一般廃棄物の計画目標の達成状況

資料５－１

（１）計画の目標の達成状況

・平成２５年度実績値と平成２７年度における目標値との比較を表5-1-1に示す。

・排出量は、平成２５年度実績値が３３０万ｔと目標の２８２万ｔより４８万ｔ多い。

・再生利用率は、平成２５年度実績値が１３．２％と目標の２２％より８．８％低い。

・最終処分量は、平成２５年度実績値が４３万ｔと目標の３５万ｔより８万ｔ多い。

表5-1-1　目標の達成状況

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：万ｔ）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | Ｈ22年度（実績） | Ｈ27年度（目標） | Ｈ25年度（実績） |
| 排出量 | ３４６ | ２８２ | ３３０ |
| 再生利用率 | １２．２％ | ２２％ | １３．２％ |
| 最終処分量 | ５０ | ３５ | ４３ |

・また、生活系ごみの排出量、事業系ごみの排出量、再生利用量のうち容器包装廃棄物及び集団回収量について、平成２７年度における目標値と平成２５年度実績値との比較を表5-1-2に示す。

表5-1-2　生活系ごみ及び事業系ごみの排出量、容器包装廃棄物再生利用量、

集団回収量についての目標の達成状況

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：万ｔ/年）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | H22年度  （実績） | H27年度  （目標） | H25年度  （実績） |
| 排出量 | 生活系 | ２００ | １８３ | １９４ |
| 事業系 | １４５ | ９９ | １３６ |
| 再生利用 | 容器包装廃棄物 | １６ | ２８ | １６ |
| 集団回収量 | ２４ | ２９ | ２３ |

（２）排出量

（ア）生活系ごみ

・生活系ごみの排出量は、表5-1-2に示すとおり、平成２５年度実績値が１９４万ｔと目標の１８３万ｔより６％多いが、平成２２年度の２００万tと比較して３％減少した。混合・可燃ごみの排出量も１４７．０万tから１４２．６万tに減少した。

・生活系ごみの排出量が減少したのは、以下の要因が考えられる。

①大阪市　生活系ごみ排出量517,373t(H22)→483,793t(H25) (6.5％減)

資源化可能な紙ごみの焼却施設への搬入禁止の効果によるものと考えられる。

②高石市　生活系ごみ排出量　13,435t(H22)→12,046t(H25) （10.3％減）

泉大津市　生活系ごみ排出量　17,416t(H22)→15,612t (H25)（10.4％減）

泉大津市は平成２２年１２月、高石市は平成２５年４月に導入したごみ有料化の効果によるものと考えられる。

　　 ③紙パック、紙製容器包装を除く紙類の排出量の減少

　　　 　紙パック、紙製容器包装を除く紙類の資源化量

239,026t(H22)→230,368t(H25) （3.6％減）

新聞用紙、印刷・情報用紙の生産量は減少がみられ、新聞の発行部数は減少し、１世帯あたりの購読部数が減少している。このことが排出量減少の要因と考えられる。

（イ）事業系ごみ

・市町村は、事業者に対し、資源化可能な紙ごみや、産業廃棄物の混入を行わないよう、搬入検査や事業者への指導等を実施し、事業系ごみの排出量は、平成２５年度は１３６万tと、平成２２年度の１４５万tと比較して６％減少したが、表5-1-2に示すとおり、目標の９９万ｔより多い。

・しかし、府内市で実施されている事業系ごみ質調査結果によると、表5-1-3に示すとおり産業廃棄物であるプラスチックが１４．３～２１．４％、資源化可能な古紙が１２．８～２３．４％の割合で混入がみられている。

・事業系ごみについては、従業員数や事業所の延べ床面積によっても排出実態が異なる。大阪市が平成２４年度に実施した「事業系一般廃棄物排出実態調査」によると、分別・リサイクルに取り組めない理由として、「手間の負担増」「保管場所がない」といった回答の割合が多かった。

表5-1-3　事業系ごみへのプラスチック及び資源化可能な古紙の混入状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 市 | 高槻市 | 豊中市 | 吹田市 | |
| 年度 | H26 | H26 | H22 | H25 |
| プラスチック | 14.3％ | 14.3％ | 18.3％ | 21.4％ |
| 資源化可能な古紙 | 23.4％ | 約19.5％ | 19.2％ | 12.8％ |

　　　（高槻市：高槻市一般廃棄物処理基本計画等策定のためのごみ組成調査報告書　H26.10

　　　　豊中市：Renews vol.7　H27.3

　　　　吹田市：すいたの環境　H23年度版、H26年度版）

（３）再生利用

（ア）容器包装廃棄物

・容器包装廃棄物の再生利用量は、表5-1-2に示すとおり、平成２５年度実績値が１６万ｔと目標の２８万ｔより少なく、平成２２年度より微減であった。

・容器包装廃棄物の主要品目別再生利用量の推移を表5-1-4に示す。平成２５年度と平成２２年度を比較すると、プラスチック製容器包装の再生利用量が増えているが、鋼製容器包装、アルミニウム製容器包装、段ボールの再生利用量は減少している。このため、容器包装廃棄物の再生利用量は目標に達しなかった。

表5-1-4　容器包装廃棄物の主要品目別再生利用量の推移

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：ｔ）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | | H22 | H23 | H24 | H25 |
| 再生利用量 | プラスチック製容器包装 | 49,495 | 47,914 | 51,369 | 51,030 |
| 鋼製容器包装 | 14,474 | 13,119 | 12,136 | 11,412 |
| アルミニウム製容器包装 | 4,467 | 3,806 | 3,697 | 4,087 |
| 段ボール | 34,182 | 34,259 | 31,027 | 30,344 |
| 容器包装廃棄物再生利用量 | 158,077 | 155,768 | 157,396 | 156,008 |

・鋼製容器包装は、全国的な傾向として、消費重量の減少による再資源化量の減少がみられている。

　　　　　消費重量　　　685千t(H22)→611千t(H25)

　　　　　再資源化重量　612千t(H22)→567千t(H25)　（スチール缶リサイクル協会HPより）

・また、鋼製容器包装、アルミニウム製容器包装は、軽量化が進んでいる。

　　　　　鋼製容器包装　Ｈ２５年：Ｈ１６年比５．７％減量化

　　　　　アルミニウム製容器包装　Ｈ２５年：Ｈ１６年比４．１％減量化

　　　　　　　（３Ｒ推進団体連絡会　第二次自主行動計画　２０１４年フォローアップ報告）

・以上のことが、鋼製容器包装、アルミニウム製容器包装の再生利用量の減少の要因であると考えられる。

・全国の容器包装廃棄物の再生利用量の傾向も、表5-1-5に示すとおり、大阪府と同様の傾向を示している。

表5-1-5　容器包装廃棄物の再生利用量　全国と大阪

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：ｔ）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目 | ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製容器包装 | | 鋼製容器包装 | | ｱﾙﾐﾆｳﾑ製容器包装 | |
| 年度 | H22 | H25 | H22 | H25 | H22 | H25 |
| 大阪府 | 49,495 | 51,030 | 14,474 | 11,411 | 4,467 | 4,086 |
| 全国 | 671,704 | 694,289 | 224,329 | 189,527 | 130,198 | 128,732 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 品目 | 段ボール | | 容器包装廃棄物合計 | |
| 年度 | H22 | H25 | H22 | H25 |
| 大阪府 | 34,182 | 30,343 | 158,077 | 156,008 |
| 全国 | 601,753 | 598,892 | 2,766,293 | 2,749,322 |

（イ）集団回収量

　・集団回収量は、表5-1-2に示すとおり、平成２５年度実績値が２３万ｔと目標の２９万ｔより少なく、平成２２年度の２４万tと比較しても減少した。

　 ・集団回収量の品目別の推移を表5-1-6に示す。新聞用紙、印刷・情報用紙の生産量の減少により、重量比で９割を占める紙類（新聞、雑誌、広告、段ボール、雑がみ等）の回収量が減少した。このことが集団回収量が目標に達しない要因の１つであると考えられる。

表5-1-6　集団回収量の推移

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：ｔ）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 集団  回収量 | 紙類 | 紙パック | 紙製  容器包装 | 金属類 | ガラス類 | 布類 |
| H22 | 241,156 | 222,012 | 552 | 5,588 | 2,091 | 62 | 10,596 |
| H23 | 238,429 | 217,696 | 542 | 6,084 | 2,183 | 54 | 11,608 |
| H24 | 233,077 | 212,615 | 441 | 6,451 | 2,238 | 74 | 10,991 |
| H25 | 230,022 | 208,373 | 437 | 7,238 | 2,345 | 76 | 11,449 |

（４）再生利用率

　・再生利用率の平成２５年度実績値は１３．２％であり、プラスチック容器包装回収量の増加等により、平成２２年度の１２．２％より増加した。しかし、古紙等の回収量の減少があり、目標の２２％には達しなかった。